

事業計画の概要

ホスピタリティ創学拠点

～おもてなしの人づくり・まちづくり～

京都市山ノ内浄水場跡地(北側用地)活用事業



taiwa
THE ACADEMY OF HOSPITALITY



学校法人 大和学園

社会医療法人 太秦病院

2015. 03. 26

事業者の沿革

学校法人 大和学園

創設以来80年以上にわたり、ホスピタリティ分野の職業教育を
実践し、企業や地域に様々な学びを提供しています。

本学園は1931年の創設から80年以上にわたり、
人の和を広げるという建学の精神をはじめとする
学園理念の下、「栄養、医療・福祉、調理、製菓、
製パン、食育、ホテル、ブライダル、ツーリズム」と
いうホスピタリティ分野の職業教育を実践してきました。

また、職業教育を通じて培った教育資産を活かし
生涯学習事業や産業支援活動にも力を注ぎ、
企業や学校、地域社会に様々な「学び」を提供し、
教育事業の幅を広げています。



創設当時の様子

事業者の沿革

社会医療法人 太秦病院

1958年に診療所を開設以来、地域住民のための医療機関として、地域医療を提供し続けています。

1958年に診療所、1967年に本病院を開設以来、地域住民のための医療機関として、地域医療に専念してきました。また、救急医療の一端も担い、地域の包括的医療を目指し、訪問診療・訪問看護にも積極的に取り組んでいます。

2000年には本病院南側に診療所を、2011年には、第二診療所を開設しました。

外来および、リハビリテーション、往診、居宅介護支援事業などの在宅医療をさらに充実させ、病院の入院・救急医療・各種検査機能と併せて、地域密着型の病院として、より良い包括的な医療機関を目指したいと考えています。



ロゴマーク



安心・安全な医療を提供

事業目的

「食文化・健康をテーマに、
ホスピタリティを学び、育み、提供する

ホスピタリティ創学拠点

～おもてなしの人づくり・まちづくり～

◆ 専門学校と病院による複合的な開発

◆ 「学びの環境の充実」

「食文化の振興や地域の健康増進による市民生活の質の向上」

「多様な人の交流によるにぎわいの創出」

◆ 京都市や京都学園大学との連携

事業方針(専門学校)

事業方針

「食文化」と「健康」に関わるホスピタリティ産業のスペシャリストを養成します。

「人の和の広がりを大きくし、もって人類の福祉増進に寄与する」という建学の精神のもと、職業型実学教育を通じて、管理栄養士、調理師、製菓衛生師、医療事務、診療情報管理士、医療情報技師などのホスピタリティ産業界で活躍する職業人を輩出し、次代の職業教育と生涯学習を担う総合学園「アカデミー・オブ・ホスピタリティ※」を創建します。
また、地下鉄沿線にある既存校をはじめ、周辺の教育機関・医療機関・企業などとの連携により、地域や京都全体の食文化の振興、地域力、文化の向上に貢献します。

※「アカデミー・オブ・ホスピタリティ」

「人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにする」という大和学園独自のホスピタリティ教育を追求し、学生や受講生の満足度を高め、ひいては人々が生き生きと躍動する地域社会や国家の創造に寄与していくという、大和学園のあるべき姿のこと。

教育方針

- ①「食文化」「健康」に深く関わるスペシャリストを育む高度な職業型実学教育を
実践するための**一大拠点となるキャンパス**の整備
- ②産学公連携によるホスピタリティ分野の**職業型実学教育における新しい価値の創造**
- ③世界から注目される**日本の食文化や健康に関する情報の国内外への発信**による
日本の文化首都「**京都**」の認知度やイメージ向上への貢献
- ④地域・社会と連携した**生涯学習の振興**
- ⑤フードサービスなど**ホスピタリティ産業の振興**や、地域住民などへの栄養指導等を通じた**地域貢献の展開**



事業方針(病院)

事業方針

「親切で的確な医療」をもって、地域住民の安心・安全な生活を支えます。

患者の皆様・地域の皆様と共に、「親切で的確な医療(やさしさと確かな技術をもって、)」を目指して、いつでも安心して受診できる、地域住民の皆様方の身近な、かかりつけ医療機関を目指しております。地域住民の安心・安全を確保する為の医療機関としての役割を果たすべく、入院設備・外来診療を充実させ、訪問診療も地域の在宅医療拠点を目指し、また、健康教室の開催・フェスタ等のイベント開催・地域集会への講師派遣等と情報発信や地域協力を実践します。地域のコミュニティとしての働きや、医療・保健・健康と包括的な医療機関として役割を担い、医療機関・教育機関との連携や共同での医学研究も図ります。

また、医療は公正、公平な立場をまもり職務を遂行し、地域貢献を果たしていく考えです。近隣の医療機関・検査機関とも連携し、チーム医療の精神に基づき職員一同力をあわせ、より質の高い医療・検査を提供し、市民生活の質の向上に貢献します。



医療方針

- ① **入院設備・外来診療の充実**
- ② 地域の在宅医療拠点として**訪問診療の強化**や地域包括ケア病床を設置
- ③ **災害時における医療拠点**としての機能整備
- ④ **健康・予防に関する啓蒙活動**の実施
- ⑤ 地域の医療機関・教育機関と連携・共同した**医学研究**の実施
- ⑥ 京都市輪番制病院(二次)として**救急の受入れ体制**を整備



事業内容

第Ⅰ期

●調理・製菓分野の専門学校の開学(平成30年度)

【京都調理師専門学校】(総定員:通学課程540名)

和食・日本料理上級科/フランス料理上級科/イタリア料理上級科(2年制)
調理師科(1年制)/調理師科夜間部(1.5年制)

【京都製菓技術専門学校】(総定員:通学課程510名、通信課程680名)

パティスリー・ショコラ上級科/カフェスイーツ上級科/
パン上級科/和菓子上級科(2年制)/
製菓技術科(1年制)/製菓技術科夜間部(1.5年制)

●病院の開業(平成29年度)

【社会医療法人 太秦病院】(一般病床45床)

循環器内科、消化器内科、神経内科、呼吸器科、整形外科、皮膚科、
リハビリテーション科

事業内容

第Ⅱ期

●栄養・医療分野の専門学校の開学(平成36年度)

【京都栄養医療専門学校】(総定員:700名)

管理栄養士科(4年制)/栄養士科(2年制)/

医療事務科(2年制)/医療情報科(2年制)/診療情報管理士科(3年制)

●健診センター機能の強化(平成34年度)

将来構想

さらなる発展に向けた取り組みを開始します。

- 「調理・栄養分野の専門職大学院」の早期設置に向けた取組(専門学校)
- 新学校種への移行に向けた取組(専門学校)
- 新学科の開設に向けた取組(専門学校)
- 認可保育所の設置に向けた取組(病院)

社会・地域貢献の取組

1 学びの環境の充実

- ◆専門学校と病院による**専門家の人材育成と実践教育**を基本に「食文化」や「健康」に関する様々な教育資源やノウハウを活かし、市民の生活の質の向上に寄与するとともに、**地域産業を担う企業の育成**も積極的に支援します。
- また、右京区や京都学園大学、周辺の教育・医療機関などと連携し、学生をはじめ多様な世代・文化・国籍の**人々が集まる学びの拠点**を創出します。



2 産業の振興

- ◆フードサービス産業へのメニュー・商品開発のコンサルティング活動等を行う「**大和学園ホスピタリティ産業振興センター**」を中心に産業支援や人材育成プログラムを実施し、フードサービス産業界の振興と発展ならびに企業の新価値創造に寄与します。
- ◆産学公と連携し、「食」や「人材育成」のノウハウを活用し、**地域の観光産業に貢献**します。
- ◆**学会やコンクールなどを開催**し、交流・MICE・国際の拠点として多様な人を集めるとともに栄養バランスに優れた日本型食習慣をテーマとしたセミナーを企画・運営するなどにより、京都から世界に向け**日本食、日本の食材に関する情報発信**を行います。



地域と進めるまちづくり

1 『地域振興』のまちづくり

- ◆行政や地域の企業・商店街などと協力しながら、人材育成や地元食材の活用、イベントの開催などを通じて、**地域のフードビジネス・農業・観光産業の振興**に貢献します。



2 『食育・健康増進』のまちづくり

- ◆医専連携による**健康増進・生活習慣病対策に向けた講座の開催**や、地域住民への栄養教育や指導等を行う「**大和学園地域健康栄養支援センター**」の開設などを通じて、健康づくりや健康寿命の延伸を推進し、市民生活の質の向上に貢献します。



3 『防災』のまちづくり

- ◆災害時には、右京区役所と連携し、**医療拠点**として機能するとともに、市民の**避難場所として施設やオープンスペースを開放**し、地域の医療・防災拠点としての機能を担います。平常時には、講習会の開催など、市民の防災意識向上に努め、災害に強いまちづくりや人材づくりに貢献します。

にぎわいの創出

1 『学び』を楽しむ

- ◆「食文化」と「健康」をテーマにしたイベントや料理講習会の実施、「京料理」をテーマにしたミュージアムの運営など、多くの人が訪れたいと思える学びの場を創出します。
- ◆和食文化を発信する講演会や国際コンベンションなどを開催し、世界の人々と料理を通じて交流する機会を創出します。



2 『食』を楽しむ

- ◆学生が運営する実習レストランや実習カフェ、製菓製パン店舗を地域に開放し、地元の食材を生かしたメニューづくり等により、楽しく豊かな食生活を提案し、人々の交流とにぎわいを創出します。



3 『まち』を楽しむ

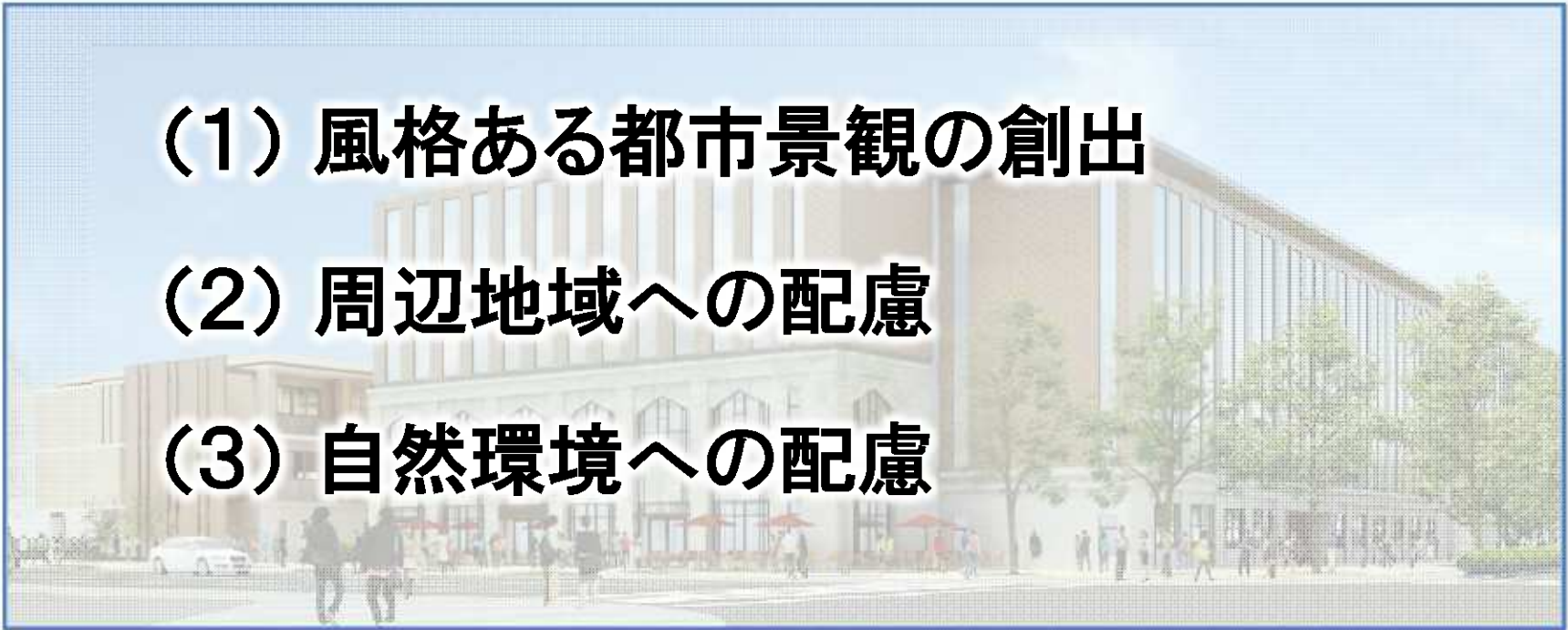
- ◆御池通沿いに歩道と一体となった歩行空間を 開放し、人々が集い、にぎわい、コミュニケーションを誘発するような空間を創出します。また、その空間を活用し、地元農産物のマルシェの開催等のイベントも行います。



施設の整備方針

施設の整備方針

敷地の東側に専門学校、西側に病院を配置し、「ホスピタリティ創学拠点」をコンセプトに、3つの方針で開発することで「都市計画マスタープラン」や「山ノ内浄水場跡地活用方針」に沿った施設整備を実現します。



(1) 風格ある都市景観の創出

(2) 周辺地域への配慮

(3) 自然環境への配慮

施設構想イメージ



- ◆御池通を「にぎわいの軸」、葛野大路通を「学びの軸」ととらえ、風格ある都市景観を創出
- ◆ポンプ棟のデザイン要素を入れるなど「山ノ内浄水場の記憶」を継承
- ◆敷地内はコミュニティパークやオープンスペース、メインストリート“山並みのプロムナード”で連続した空間を形成し、にぎわいと憩いの空間を確保
- ◆御池通及び葛野大路通沿いは彩のある連続した街路樹を整備し、花と緑のまちづくりに貢献
- ◆敷地北側には緑地帯を設け、住宅地からの景観に配慮

施設構想イメージ

＜太秦天神川駅側からのイメージ＞



◆にぎわいの軸となる御池通沿いに**実習レストラン**や**実習カフェ**、**製菓製パン店舗**を設置

◆**セミナーホール(専門学校)**や**リハビリ室・多目的ホール(病院)**を市民にも開放し、
地域行事や研修、サークル活動などの場として貸し出すことで、地域の交流を活性化

◆**京料理ミュージアム**を設置し、ユネスコ無形文化遺産に登録された

“和食;日本人の伝統的な食文化”の継承・発展につなげるとともに、にぎわいの環境を創出

施設構想イメージ

＜御池通・葛野大路通
交差点からのイメージ＞



- ◆御池通および葛野大路通の**道路境界から10m建物をセットバック**させ、歩道と一体となった魅力ある歩行空間を創出
- ◆自動車出入口の限定や敷地内の車路制限、“山並みのプロムナード”を歩行者専用道として設置するなど、**敷地内の歩車道分離に努め、歩行者の安全性を確保**
- ◆学生の自動車・バイクの利用禁止など、歩行空間を横断する**自動車の通行量を抑制**



学校法人 大和学園



社会医療法人 太秦病院